

令和4年度学校関係者評価報告書

学校法人川江学園
お宮の里幼稚園

1. 本園の教育目標

「心豊かdeganばる子ども」の姿を目指して、知育、徳育、体育の理念を大切にされた適切な指導と環境を設定し、子ども達の人間形成の基礎を培い、心身の発達を助長する。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り、教育内容の改善に取り組むとともに外部講師を招聘して助言をいただくことで反省と改善を積み重ねていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育方針・教育課程	B	教育目標並びに教育方針の理解を深めるために定期的に会議を行った。また、保育の進め方について情報の共有を図るためにリフレクション会議を実施した。
2	保育計画の策定	B	幼児の日頃の姿を観察し、子ども達の興味関心に基づいた計画を策定するように心がけた。また、教職員間において計画策定の経緯と実践効果について会議を行い、情報共有に努めた。
3	保育の質の向上	B	環境準備や構成をテーマとして園内研修を行った。特に発達や季節に応じた環境準備について重点的に取り組み、子どもの興味関心を基にした適切な保育環境について大学教授の助言の下、共有会議を行った。
4	安全管理	B	送迎バスでの事故防止のために添乗員によるチェック項目の見直しを行うとともに、全職員での園バス安全マニュアルの周知徹底を図った。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	重点的に取り組むべき目標や計画、課題について、全教職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組み、自らの保育や安全管理を振り返ることで、段階的に改善することができたと思われる。しかし、各項目に対して新たに発見された課題もあるため、今後課題の解決に努めていく。

5. 今後取り組む課題

	評価項目	取り組み状況
1	保育の質の向上	教職員の入れ替わりの影響により保育の均質が損なわれないよう新規採用の教諭に対して教育方針の理解を促進し、均質化を図るとともに全体の更なる底上げを図っていく。
2	業務の効率化	教職員に求められる業務が年々増加している中で保育の質が損なわれないために教職員の業務負担の分散化を図る体制を構築する。具体的には有給休暇の取得率向上、保育準備の役割分担、情報共有方法について検討し、段階的に推進していく。
3	安全管理	新しい園バスのマニュアルや園外保育時のマニュアルを教職員間で改めて周知徹底し、ヒューマンエラーのリスクの低減を目指していく。

6. 学校関係者の評価

子ども達がのびのびと楽しく取り組んでいる姿が見られ、園の教育方針が教職員一人ひとりに浸透していると感じられる。子ども達の環境作りや行事運営に工夫がなされていたと思われる一方で、行事の目的と行事の内容が結びついていないこともあったため、いま一度見直しと確認を行った方が良いと思われる。

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

委員会実施日 令和5年2月24日